

No.
100



独立行政法人国立病院機構

静岡医療センター NEWS

ニュース

私たちは生命を大切にし
社会から信頼されよるこばれる
高度で適切な医療を提供します



血管連続撮影装置を更新しました

巻頭言 高齢化社会と共に	院長 岡崎 貴裕	2
診療科の紹介 消化器内科		3
専門職紹介 けが（コロナ）の功名（手指衛生）		4
専門職紹介 7東病棟の紹介		5
専門職紹介 療育指導室のトピック		6
地域医療連携室		7
外来担当医表		8



高齢化社会と共に

院長 岡崎 貴裕

2025年(令和7年)、皆様には、さわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、昨年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

昨年5月に、2020年より続いていたCOVID-19感染症が、感染症法の2類相当から5類に格下げされたことに伴い、人々の経済活動は確実に以前に戻るだけでなく、さらにはそれを追い越すような再拡大をはじめて現在に至っています。もちろんこれは良いことであり、このリバウンドの力を借りて約30年継続していたデフレの回避を目的に、ようやく金利の正常化が始まろうとしています。

しかしながら、一方では、その間にも日本の人口減少と高齢化は確実に進んでおり、当院が位置する駿東田方地区(北は小山町から南は伊豆市まで)の高齢者率(65歳以上)は、令和5年時点で30.4%となっています。これは静岡県および日本全体の平均的推移と同レベルです。厚生労働省の推算では、日本全体においては、2050年には高齢者率が約6割まで上昇することが見込まれており、これとともに医療・介護双方の複合ニーズを持つ85歳以上の高齢者救急搬送数は、2020年を起点

とすると2040年にかけて75%増加し、在宅医療の需要も62%増加するとされています。

時を同じくして、働き方改革関連法の本格的な始動により、医師を含む医療従事者の仕事量は実質的に低下に向かいます。若年者人口の減少とも相まって、医療における量的・質的低下が避けられない現状の中では、より効率的な意識付けに基づいた労働生産体制が求められます。これは、現在までの医療体制(老若男女を問わなかった全方位的医療)から、人口構成変化に則した高齢化社会に比重を傾ける医療体制に再構築する必要性を意味しており、これが喫緊の課題となっています。

これは、当院だけでの問題ではなく、国・県をはじめとする行政のみならず、地域の医療者全体で考えていかなければならない問題です。議論を重ねながら、今まさに変容しつつある社会に応じた当地域の医療体制の姿をもう一度考え直す機会となっています。

当院も健康を支える社会インフラ企業の一つとして、加齢変化をしっかりと支える医療を考えながら、新しい医療提供できるよう研鑽を積んでまいり所存です。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

診療科の紹介

消化器内科

皆さん、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

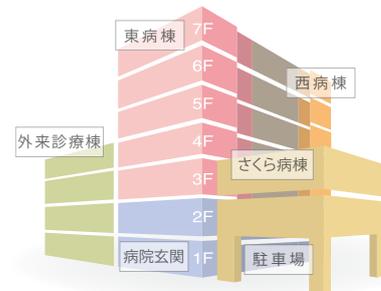
今回は消化器内視鏡の進歩についてご紹介いたします。消化器内視鏡は、本来は真っ暗な胃や大腸などの消化管を直接観察する技術で、現代では病気の早期発見や治療において非常に重要な役割を果たしています。これまでの技術の進化により、内視鏡はますます精密かつ高性能になり、私たちの診断能力を飛躍的に向上させてきました。

まず、内視鏡の画像解像度が大幅に向上しました。それと同時に画像強調処理をすることにより、従来の内視鏡では見逃してしまうような微細な病変も、正確に検出できるようになりました。そのため、がんなどの早期発見が可能となり、患者さんの予後を大幅に改善することができています。消化器疾患の特徴は、早期発見出来れば治癒出来る可能性が高いことがあげられます。

さらに、技術の進歩に伴い、内視鏡の治療技術も大きく進化しています。例えば、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）は、初期のがんや大きなポリープを内視鏡で安全かつ効果的に切除する技術です。従来の外科手術に比べて患者さんの負担が少なく、入院期間も短縮されるため、患者さんにとって大きなメリットがあります。



消化器内科診療部長
松田 浩二



そして、胆膵領域では、内視鏡的逆行性胆道膵管造影（ERCP）や超音波内視鏡（EUS）下の処置などの技術も発展し、総胆管結石など胆管や膵管の病変に対する治療がより効果的に行えるようになってきました。

さらに、内視鏡の進歩は技術面だけでなく、患者さんの負担軽減にも大きく寄与しています。従来の内視鏡検査は、患者さんにとって不快感や痛みを伴うものでしたが、新しい内視鏡技術や手法の開発により、検査時の不快感が大幅に軽減されています。例えば、極細径内視鏡の導入により、経鼻内視鏡検査が可能となり、口から挿入する従来の方法よりも患者さんの負担が少なくなっています。また、鎮静剤を使用した検査も普及しており、検査中の痛みや不快感を感じることなく、リラックスして検査を受けることができるようになってきました。当院では主に健診の内視鏡でこの極細径の内視鏡を使用しています。

私たち内視鏡部は、これらの最新技術を積極的に導入し、患者さんに最適な医療を提供することを目指しています。常に技術の進化を追い続けることで、内視鏡診療のレベルを向上させ、患者さんの健康と生活の質を守るために尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



けが(コロナ)の功名(手指衛生)

2019年より始まったCOVID-19（新型コロナウイルス感染症）の世界的大流行は、人々の生活を一変しました。我々医療従事者も少ない医療資材（当時は輸入がストップ）の中でどう感染対策を行うか、欠勤者の多い病棟でどう夜勤を行っていくか、「通常医療の継続」と「コロナ診療」とをどうバランスをとっていくのか等、本当に苦労の連続でした。

2度と経験したくないと思う一方で、怪我の功名というべき、唯一‘よかった’と思えたことがあります。それは「手指衛生の重要性が認知され、実施率が上がり、手技が向上したこと」です。コロナを期に当院職員のアルコール手指消毒剤の携帯率も以前と比べアップし、消毒剤の使用量も増加しました。職員だけでなく、患者様、そのご家族、来院する多くの人が入退館時等に手指消毒にご協力いただいています。

手指衛生は感染対策の中でも最も重要な要素の1つです。病原微生物を環境から別の環境へ又は人から人へ運ぶのも、ウイルスの侵入口である「口、鼻、目の粘膜」へ押し込んでしまうのも全て「手」です。

正しい手指衛生の方法やそのタイミングを習得することは、自分自身の感染予防のための最大の武器になります。

本格的な冬季流行感染症シーズンを迎える前に今一度正しい方法とそのタイミングを確認しましょう！



感染管理認定看護師
前田 奈緒子

【手洗いのポイント】

- 適切な量使っていますか？
- 爪と指の間（爪床）を意識して洗っていますか？
- 指の間、親指の付け根も忘れずに擦っていますか？
- 石鹸成分を十分洗い流していますか？

【家庭での手洗いのタイミング】

- 公共の場所から帰った時
- 外にあるものに触った時
- 咳やくしゃみ、鼻をかんだ後
- トイレの後
- 食事の前後
- 調理の前後
- 病気の人のケアをした時

【アルコール消毒剤の期限の確認を！】

「手指消毒剤」にも使用期限があるのはご存じでしょうか？ 炎天下に置かれていたものや使用期限が切れているものはアルコール濃度が低下している可能性があります。品質が低下しているものは十分な消毒効果が得られません。ご自宅にある物や携帯している物があれば、消毒剤期限が切れていないか確認してみてください。



厚労省HPより

専門職紹介

7東病棟の紹介

副看護師長 田畑 庸平

こんにちは7東病棟です。7東病棟は整形外科病棟です。事故やスポーツなどの外傷や、転倒による骨折、変形性関節症の方が多く入院されています。入院患者様は高齢者の方が多く生活環境の変化に慣れない方もおられますが、様々な多職種で構成されたサポートチームと協力し患者様が安心して治療を受けることができる療養環境を整えるように、定期的に勉強会を開催し知識の向上にも努めています。

大腿骨近位部骨折では地域連携パスを使用し近隣の施設と連携し円滑に患者様やご家族が望む姿に寄り添えるように退院支援を行っています。患者様一人ひとりに合わせた退院先や療養先を、カンファレンスを通して医療ソーシャルワーカーと共にスタッフ全員で考えています。骨折後は日常生活レベルも一段階低下すると言われていています。そのため、一つ一つの日常生活動作はリハビリの意味をもつため、痛みの緩和を行いながら療養生活の中で、リハビリを意識した看護を提供しています。

7東病棟の強みはチームワークです。スタッフ同士の連携が円滑で患者様の目標に向かって一丸となって看護を行っています。また子育て中のスタッフもお互い声を掛け合って協力でき仕事と育児の両立もできています。

当病棟は院内最上階にあります。共有スペースにある食堂からは、晴れていると富士山もよくみえます。「富士山が見えるところまで歩けるように頑張ろう」と言ってくださる患者様とともに日々リハビリにも力を入れています。



7東病棟から見える
富士山です

療育指導室のトピック



療育指導室 主任児童指導員
戸田 麻綾

さくら病棟には、長期療養されている利用者様が身近に外の空気を感じられるよう、屋外へ出られるスペースが多々ありますのでご紹介します。

病棟内に沢山の光を取り込む「ふれあいの庭」、天気によ左右されることなく富士山を眺められる「富士山デッキ」、建物の屋上で緑豊かにゆったり過ごせる「みどりのひろば」です。コロナ禍では屋外へ出ることも儘ならない時期がありましたが、これらの病棟から直接屋外へ出られるスペースのおかげで、閉塞的な生活の中でも利用者様の情緒の安定を図るのに活躍しました。

特に「みどりのひろば」では、紫陽花、檸檬に苳等の植物が毎年沢山の花や実を付けます。春先には、カルガモ親子が生活の場として活用していたこともありましたが、通所支援事業の利用者様がお散歩をすることもあります。また、訪問教室の生徒が授業の一環として植物を、利用者様が日中活動の一環として野菜を育てる場としてと、色々な場面で活用しています。

そんな「みどりのひろば」で、今年は利用者様と一緒にじゃがいもを育てる活動を行いました。なるべく衣類等が汚れる機会が少なくなるよう、プランター代わりに、培養袋の端をカットしたものを代用し袋栽培を採用しました。5月中旬頃、1つの袋に3～4個の種芋を植え付けました。それから天気の良い時にひろばに来た利用者様が、職員と一緒に水やりを行いました。6月中～下旬頃、収穫を行いました。1つの房に10個程度の小ぶりなじゃがいもがゴロゴロとできました。収穫したものを栄養管理室に調理していただけないかお願いしたところ、快く給食に提供していただける運びとなりました。利用者様から直接、栄養管理室の調理師にじゃがいもを手渡す贈呈式を行い、8月上旬に食事を召し上がることができる利用者様に冷製スープとして提供されました。体の状態により召し上がることが難しい利用者様へは、一部のじゃがいもを芋版として形を整え、ご家族の方へ近況をお伝えするお手紙をお送りしました。

食べられる方への提供も大事ではありますが、一方で病棟内には食べられない方がいることを念頭におき、合理的に配慮することも大切なことだと考えています。1つの植物を「育てる」だけでなく、その先をどのようにアプローチできるのかを考えながら、これからも利用者様の生活に彩りを添えられるよう努めて参りたいと存じます。



こぶし大のじゃがいもを収穫しました



調理師へ贈呈式を行いました



カラフルな芋版を作りました

地域医療連携室

連携医療機関紹介 公益財団法人 復興会 沼津リハビリテーション病院

沼津リハビリテーション病院は昭和33年に牛臥病院として、沼津港に近い緑に囲まれた閑静な地域に誕生しました。そして時代の要請に応え、平成16年に新たに沼津リハビリテーション病院へと改名し再出発いたしました。リハビリテーションや医療療養といった病院機能を担い、訪問看護ステーションや通所リハビリテーション、姉妹法人社会福祉法人信愛会の運営する介護老人福祉施設と連携を行い地域医療・介護の円滑な進行の一翼を担う医療機関へと進化してきました。



直近では嚥下造影検査機器や免荷式トレッドミル、免荷式歩行器などを導入し、検査やリハビリテーションの充実と質の向上に努めています。その効果により回復期における在宅復帰率は77.91%となっております。リハビリテーション課職員総勢46名（理学療法士22名、作業療法士17名、言語聴覚士7名）により回復期～在宅生活までのフォロー体制を構築しております。

診療科目	リハビリテーション科・内科・神経内科・消化器内科
病床数	106床 回復期リハビリテーション病棟54床 医療療養病床52床
主な届け出 受理等	回復期リハビリテーション病棟入院料 療養病棟入院基本料 脳血管疾患等リハビリテーション料（I） 運動器リハビリテーション料（I） 通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション
院長	長友秀樹（神経内科）
副院長	杉山元信（内科）
所在	〒410-0813 静岡県沼津市上香貫堂陀ヶ原 2510-22
電話番号	055-931-1911
FAX番号	055-934-3811
ホームページ	https://www.fukkou-kai.jp/nrh/



院長 長友秀樹



免荷式トレッドミル



免荷式歩行器



嚥下造影検査

	呼吸器内科	糖尿病内科	内科	腎臓内科	消化器内科	脳神経内科	脳神経内科	リウマチ膠原病内科	眼科	心臓血管外科	外科			呼吸器外科	小児科	産婦人科	
月			北野 第1・3・5週のみ 辻林 第2・4週のみ 予約のみ		坂本 予約のみ	服部	田中 予約のみ	岡崎(俊良) 予約のみ	片山 梅原		波里 高木	腫瘍内科 担当医 伊澤	松下 高城	中野(良)	渡邊 予約のみ 第2・4・5日曜日 第1・3・X日曜日	守田 フアロー外来 第1・3・X日曜日	新櫃
火	呼吸器担当医 予約のみ		辻林 予約のみ		大西 予約のみ	本間	田中	岡崎(俊良) 予約のみ	片山 梅原		波里 高木	腫瘍内科 担当医 伊澤	松下 高城	中野(良)	渡邊 予約のみ 第2・4・5日曜日 第1・3・X日曜日	守田 フアロー外来 第1・3・X日曜日	新櫃
水		糖尿病担当医 予約・絶対状 のみ		腎臓内科 担当医 予約のみ	松田 予約のみ	本間	田中	岡崎(俊良) 予約のみ	片山 梅原		波里 高木	腫瘍内科 担当医 伊澤	松下 高城	中野(良)	渡邊 予約のみ 第2・4・5日曜日 第1・3・X日曜日	守田 フアロー外来 第1・3・X日曜日	山澤
木	古屋 予約のみ		小林(秀) 予約・絶対状 のみ		若林 再診 予約のみ	大西 予約のみ	田中	岡崎(俊良) 予約のみ	片山 梅原	内藤 森	酒井 角	角		田中(雄)	植松		山澤
金	本橋(典) 第1・2・3・5週 塚下 第4週のみ 予約のみ																産婦人科担当医

担当医表

	脳神経外科	整形外科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	形成外科	放射線科	皮膚科	歯科口腔外科	循環器内科	緩和医療	ペインクリニック
月	高橋 黒田	小林(哲) 予約・絶対状 のみ	小森	間庭 予約のみ 10:30~	刃部 ※第3週は 予約のみ	杉山(彰)	岩田	杉山(由)	辻林 第1・3・5週のみ 國分 第2・4週のみ	渡辺(允)	内田 (心理) 予約のみ
火	黒田 高橋	渡邊(健) 予約のみ	池田 診察9:30 ~11:30	間庭 予約のみ	小林	杉山(彰)	岩田	杉山(由)	川中	木村(慶)	國分
水		大沢 予約のみ	入江 予約・絶対状 のみ	整形担当医 予約・絶対状 のみ	中山 第1・3週のみ	杉山(彰)	岩田	杉山(由)	川中	小鹿野	堤
木	高橋 黒田	渡邊(健) 予約・絶対状 のみ	荒井	荒井	諏訪	杉山(彰)	岩田	杉山(由)	川中	小鹿野	堤
金	黒田 高橋	小林(哲) 予約・絶対状 のみ	佐藤 予約・絶対状 のみ	間庭 予約のみ	奥原 第2・4 金曜日のみ 予約のみ	杉山(彰)	岩田	杉山(由)	川中	小鹿野	堤

○上記の診療日は、休暇や学会出席等でご変更することがありますので、詳しくは各科外来の掲示を確認して下さい。

- * 脳ドック……………毎週(月)(金)
- * 皮膚科(本田医師)……………本田医師に受診中の患者様のみ予約できます。
- * ペインクリニック(井出医師) ……井出医師に受診中の患者様のみ予約できます。

がん相談支援センターのご案内

相談日時：月～金曜日(要予約)(祝日・年末年始除く) 午前9時～午後4時
 担当：静岡医療センター地域連携室 医療ソーシャルワーカー

一般内科の診療形態の変更について

内科医師の退職に伴いまして、令和6年4月以降の「予約の無い一般内科外来診療」は、一時的に休診とさせていただきます。出来るだけすみやかに再開できるように医師確保に尽力しております。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

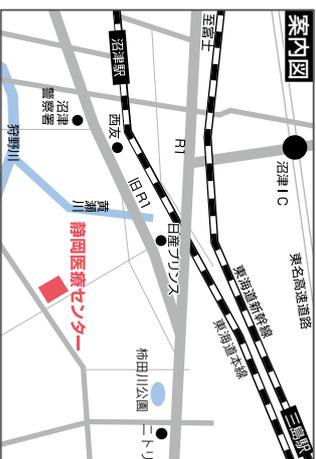


独立行政法人 国立病院機構

静岡医療センター

〒411-8611 静岡県駿東郡清水町長沢 762-1

☎ 055-975-2000 FAX : 055-975-2725 紹介用 FAX : 055-975-1999



令和7年1月1日現在